

施策・主な取組シート

基本方向	(5) まちの快適・うるおい空間づくり	基本政策	2) 都市環境の充実	
(1) 施策				
名称	2 9 市街地整備の充実			
目標	都市的利便性や快適性を高める都市基盤の計画的な整備と維持を図ることにより、定住人口や交流人口の増加をめざします。			
現状と課題	本市は、昭和40年代から各地において土地区画整理事業が施行され、現在も商業、業務及び住宅等の都市機能の集積が図られています。 。しかし、人口が増加している本市においても近い将来、人口減少が予測されているため、東京湾アクアライン、館山道及び圏央道等の広域交通ネットワークを活用し、本市の持つ強みを活かしたまちづくりを行い、定住人口や交流人口の増加を図ることが必要となります。 。また、超高齢化社会に備え、駅周辺の市街地に都市機能を集積するまちづくりが課題となっています。			
課題解決の方向性	定住人口や交流人口を増加させるため、現在進めている土地区画整理事業等による市街地整備を推進します。 また、少子高齢化等の社会情勢に対応するため、駅周辺の都市機能を維持し、更なる集積を図ることにより、歩いて暮らせるまちづくりをめざします。			
(2) 主な取組				
No.1	名称	市街地の整備		
	担当課	都市政策課、市街地整備課、住宅課、地域政策課		
	概要	・金田西地区及び請西千束台地区の土地区画整理事業の進捗による、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り、多様な都市機能が集積した良好な住環境を有する住宅地の形成を推進します。 ・木更津駅周辺において、街なか居住を推進し、賑わいの創出に資する、土地利用の共同化、高度化等を図るマンション建設に対し、補助金を交付します。 ・「コンパクト＋ネットワークの拠点づくり」をめざし、木更津駅周辺の中心市街地における、都市機能の集積及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進するため、「中心市街地活性化基本計画」の策定・推進に取り組みます。		
施策目標の実現に関する指標	指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
	金田西地区の使用収益開始 ^ア 面積	1 3 . 4 h a	1 1 0 . 8 h a	新市街地の整備により、多様な都市機能が集積した良好な住環境を有する住宅地を造ります。
	請西千束台地区の使用収益開始 ^ア 面積	1 3 . 7 h a	2 3 . 4 h a	新市街地の整備により、良好な住環境を有する住宅地を造ります。
	木更津駅周辺において土地利用の共同化・高度化がなされた地区面積	0 h a (平成30年4月1日)	0 . 5 h a (平成35年3月31日)	街なか居住マンション建設補助事業を活用した民間事業者による、市街地の環境の整備改善 (3地区)